

新津地区公民館運営審議会会議概要

新津地区公民館

7 枚中 1 枚目

実施年月日	第 5 期 第 3 回 新津地区公民館運営審議会 平成 28 年 6 月 29 日(水)実施		
会 場	新津地区公民館 304 研修室	傍聴人	0 人
出席者 (委員)	伊藤愛子、大泉直美、大沼直子、川瀬雅司 (副議長)、相馬真紀子、中川陽一、 皆川美穂子、渡辺和典 (議長) [敬称略]		
出席者 (事務局)	新津地区公民館：江田孝志 (館長)、伊藤義則 (主任)、渡辺ゆかり、鶴巻裕子、 堺葉子 小須戸地区公民館：櫛谷敏行 (館長)、渡辺昌子		
議 題	(1) 平成 27 年度事業報告について * 事業評価シート (2) 平成 28 年度事業計画について * 平成 28 年度新潟市公民館事業の基本方針 (3) その他		
審議された議題について、以下に記載する。			
<p>1. 開会 館長あいさつ</p> <p>2. 議事 (1) 平成 27 年度事業報告について 新津地区公民館 (説明者：伊藤) 小須戸地区公民館 (説明者：櫛谷、渡辺)</p> <p style="text-align: center;">— 質疑応答等 —</p> <p>(渡辺議長) 今ほど映像を交えて、ていねいな情報提供をしていただきましたが、それぞれお聞きになりたいことがあると思いますので、遠慮なくお願いいたします。 それでは、私から一つ、小須戸地区公民館で、実行委員会が中心となってやられたという事業のご説明がありました。その辺をもう少し詳しく教えていただければと思います。 (事務局) 昨年 3 月末で旧公民館の建物が閉鎖になったことに伴い、私どもも組織が替わって人数も減ってしまったという事情がありました。これはとても大きい大会ですから、私どもがメインで動くということが無理ではないかということで、実行委員会を作ってそちらに移行しようと、事前に皆さんにお集まりいただいて話し合ったという経緯がありました。 (渡辺議長) 分かりました。 (事務局)</p>			

地元コミュニティ協議会やスポーツ推進委員たちを中心に実行委員会を設け、5回の話し合いを持ちました。

(渡辺議長)

とにかく公民館主導でいくと受け身になりがちですが、自分たちで主体的な動きということもいいことなのかなと。

(事務局)

この事業は、私どもが裏方になることを目指しています。すぐには無理かもしれませんが、将来的な方向性としては、そのようにしていきたいと思っています。

(渡辺議長)

ありがとうございました。

事業の評価シートも配布されていますので、これをご説明いただいて、またご意見があればいただきたいと思います。

(事務局)

昨年の全事業を集約して評価したものが、こちらの事業評価シートです。このシートは、すべての事業において一次評価を行い、さらに館ごとに二次評価を行ったもので、新潟市公民館事業方針による重点事業ごとの評価となっています。各事業ともに、事業のねらいによる成果により、必要性、有効性、効率性の項目で評価を行っています。さらにこの評価の中では、課題、今後の改善、改革の計画を踏まえて、館長の総合評価をさせていただいています。

(渡辺議長)

今の評価シートなどもご覧いただいて、先ほどのご説明等と照らし合わせながら、ご質問がありましたらお願いします。

(川瀬副議長)

新津地区公民館の4番「青少年の生きる力を育む事業」の中で、人数が少なかったという事業がありましたね。

(事務局)

11番でしょうか。

(川瀬副議長)

多分、宣伝の仕方が足りないということが一番の原因と思うのですが、公民館の入り口のところに写真が出ていましたが、小学生対象であれば、小学校へこういうようになりましたよというような結果は広報していますか。

(事務局)

そういうチラシはまだ作っていません。このチラシ自体は、やったことを皆さんに見てもらおうと、昨年取りかき始めたものです。学校などにも見ていただけるように、教育コーディネーターが上手にチラシを作っていますが、そういうものも参考にさせていただきたいと思います。

(川瀬副議長)

学校にこういうことをやりましたよということを見せると、私行ったんだよ、という人が出てきます。個人個人の口コミでまた宣伝も広がるケースもありますから、昨年やった事業はこ

うで、今年はこのことをやりますというようなものを、ぜひ学校にはやってもらいたいと思います。

(事務局)

ありがとうございます。

(渡辺議長)

ほかに、ございませんか。

(中川委員)

2番の「学・社・民の融合による人づくり、地域づくりを推進する事業」で「G I P集会」ですが、新津第五中学校の主催でやっていると思ったのですが、これは公民館の事業なのでしょうか。

(事務局)

共催という形になっています。もともとと新津第五中学校主催のいじめ防止プロジェクトということでしたが、そこに私どもも、連携して一緒にやらせていただいています。

(中川委員)

受講者の満足度が95パーセントと高い数字になっているのですが、子どもたちの調査になるのでしょうか。

(事務局)

参加していただいたその地域、新津第五中学校の周りの地域の皆さんの評価です。

(渡辺議長)

ほかにどうですか。

(大沼委員)

新津地区公民館は、昨年、新しい保育室を作られましたよね。せっかく作った保育室なのですが、部屋が狭くて、講座における保育ではあまり使われていない状態なのではないかなと思っています。今までどおり、和室を使っただけの保育になっているものですから、あの部屋はなんのために作ったのかなど。子育てサロンのほうではけっこう利用されているということでしょうか。

今後も、人数が少ない保育をあそこでやって、大人数になったら今までどおり和室という形になるのでしょうか。

(事務局)

本来であれば、専用に作ったわけですからそこでできれば一番いいのですが、今、言われたように、子どもの数が多いと、どうしてもそこでできなくなってしまうということもあり、その場合は和室を使うということもあります。

職員の間でも、もう少し部屋を広げられないものか話には出ています。今、遊具などを置いてある部分に畳を敷けば、もう少し人が入れるのかなと考えています。

(大沼委員)

荷物がすぐそこから出せるようにということで、わざわざああいうふうに作っていただいたのですが。

(事務局)

隣の部屋とドアで行き来できるようになっているので、そこから荷物を出し入れするような形で。まだ隣の部屋も整理できない状態ですが、せっかく作った場所ですので、あの保育室をより活用できればいいと思っています。

(大沼委員)

使う保育室が二か所あるような状態です。春の交流会などで避難経路とか確認するのですが、ここの部屋だった場合はあちら、あちらではこちらというように、集合場所もバラバラになってしまって、なにか不都合が起きてくるのではないかなと思います。

せっかく作った保育室なのですが、講座室と離れているということで、緊急の場合など、すぐにお母さんたちに来てもらえるか私たちも不安ですし、お母さん方が帰ってきて話を聞いていると、近くの和室だと今回はここでよかった、向こうだと遠くて大変よねというような声も聞こえてきます。子育てサロンで多くの人に使っているのだから、向こうは子育てサロン用にして、保育室は保育室でまた少し大きめの、講座室に近いところで何かできるのかなというように思ったりしています。

(事務局)

今のご意見を参考にして、よりよい方向を考えていきたいと思います。今年から、来年からというようにはなりません、今のご意見は職員全員で共有しておきたいと思います。

(渡辺議長)

27年度の件につきまして、あとはよろしいでしょうか。

それでは、次の「平成28年度の事業計画について」に入らせていただきます。

(2) 平成28年度事業計画について

新津地区公民館（説明者：江田、伊藤）

小須戸地区公民館（説明者：櫛谷）

— 質疑応答等 —

(渡辺議長)

公民館の基本方針、二つの公民館の28年度の事業について、それぞれご説明をいただきました。ご質問がありましたらお願いします。

(皆川委員)

小須戸地区公民館の家庭教育講演会ですが、昨年まで「ひまわりママクラブ」として、地域のお母さんたちのつながりをとということで実施を続けていただいていた。保育室が狭いという理由などもあって、見直しということはずごく理解ができるのですが、何らかの形でお母さんたちが孤立しないようなものも取り入れていただけるとありがたいと思います。

また、今年の講演会は、園児期・学童期の保護者を対象にしたとありましたが、今回、矢代田小学校で開催された内容が、学童期の保護者向けという内容になっています。これから園児期対象という、時間的に開催が難しいのかなと思いますが、結小学校は、学校でいろいろな講演会などを開催する場合、学校内の部屋を、小さいお子さん、保育園、幼稚園のお子さんをお持ちのお母さんも参加できるように、PTAも一緒になって工夫されていると聞いています。

いろいろな世代、年代のお子さんをお持ちの人たちが聞けるような工夫をしていただけるとありがたいと思います。

まちづくりセンターに限らず、矢代田のふれあい会館なども活用して、お子さんを離して、小須戸地区のお母さんたちにも、そういった時間を持っていただけるような工夫をしていただけるとありがたいと思います。

(事務局)

講演会形式に決めたということではなく、今までの連続講座という形の家庭教育学級を見直して、このようにさせていただきました。それがうまくいかなければ、また元に戻すという選択肢も当然出てきます。学社民ということも言われていますので、ご指摘のように、学校を借りて、あるいは地域のまちづくりセンターでと会場を変えてやってみることも、一つの方法と思いますが、もうしばらく時間をいただきたいと思います。

(渡辺議長)

ほかに。

(大沼委員)

小須戸地区の保育室が小さいからというようなお話が今ありましたけれども、ふれあいセンターの中で保育ができるような部屋はあるのですか。

(事務局)

小須戸まちづくりセンターということですか。

(大沼委員)

又は、まちづくりセンターの中で。

(事務局)

やろうと思えば可能だと思いますが、例えば建物のでっぱりとか、けがをしないように畳の部屋を使うとか、床の場合はマットを敷くとか、いろいろ工夫はできると思いますが、そういう仕様になっていません。まちづくりセンターは集会施設ですので、もともとそういう作りになっていないということが一つの問題だと思っています。

(大沼委員)

和室はある、けれども和室の場合は、使っているということになっているのですね。

(事務局)

できたばかりという事情もあり、子どもたちに使ってもらおうと、汚してしまうこともあります。そういうことを少し懸念されているのかなとは思いますが。

(大沼委員)

新潟市は、各地区でゆりかご学級をやっていますが、各公民館、3か月分のお子さんしか見られないわけです。新津地区でもありましたが、その3か月に該当しないおさんは新津地区に行けない。それで、ほかの亀田とか曾野木とか近くに行ってくださいということで、4期に分けてやっていっちゃると思いますが、やはりお母さんとしては自分の地区のところへ行って、同じような子を持つ仲間づくりをしたいという気持ちがあると思います。

秋葉区には二つの公民館があるので、例えば新津で1期目をやったら3期目は小須戸のほうで、ゆりかご学級ができたらいいのではという話も、お母さんたちの間では出ています。

それで、小須戸のふれあいセンターなどでやるのはどうかと思って今お聞きしたのですけれども、赤ちゃんであればそんなに部屋も汚さないかなと思いますが、やはり難しいところでしょうか。

(事務局)

公民館で管理する建物であればいいのですが。

(大沼委員)

そうですね。そういうことですね。

(事務局)

おっしゃることもよく分かるのですが、ほかのところが管理している建物という事情もあります。また、新津に比べて小須戸は、人口が1万を切っている状況で、ニーズの面でどうかという問題も出てきます。

(大沼委員)

それはそうですね。ここ数年のゆりかご学級は、どこの公民館も定員20名きっかり。亀田は24名ですがけれども、それでも抽選に漏れたという話もありますし。

保育が定員に達してしまっただけ、ほかのところにあずけて出てこられる方もたくさんいらっしゃるし、やはり3か月に合わなかったために参加できなかったという声も聞いているので、新潟市全体でうまい具合にいくといいなと思っています。

(事務局)

新潟市全体で調整は取っていますし、数年前に比べれば学級数も増えていると思います。

(大沼委員)

お母さんたちの関心は高いと思います。

(事務局)

当然、公民館としては考えなければいけない問題だと思います。

先ほど説明のあった安産教室など、公民館以外、例えば健康福祉課といいますか、福祉サイドでも類似の講座をやっていますので、そういうものも合せてご利用いただければと思います。

(渡辺議長)

ほかにいかがでしょうか。

(相馬委員)

新津地区公民館の昨年度の「コミュニティコーディネーター育成事業Akihade夜会」ですが、28年度の事業計画では「その他」の分類になっていて、2番が新規事業になっています。この新規事業の中身がもし分かっていたら教えていただきたい。

併せて、昨年度の「Akihade夜会」が、一般の参加者が少ないとおっしゃっていましたが、実際に一般の参加者の人数はどのくらいでしょうか。

また、昨年度の反省会を持たれたときに、次年度はこういう形でもっとたくさんの参加者が増えるといいというような話し合いがされたと思うのですけれども、どういう解決策が出たかを教えてください。

(事務局)

2番の新規の「コミュニティコーディネーター育成事業」と、22番の「その他」のほうに入

った「A k i h a d e 夜会」の事業の作り方ですが、昨年の「A k i h a d e 夜会」については、若い人たちに参加してもらい、柔らかいムードの中でゆっくりと自分たちが仲間を作り、これからの地域活性化活動につなげていくというような事業のスタイルになっていました。今年度のコミュニティコーディネーター育成事業では、コミュニティビジネスを取り入れた講座を、現在計画しています。地域も、ビジネスをしながら、地域のために、収益を上げ、それを地域のために使って、もっともっと地域を豊かにしていこうというような内容になるかと思えます。

「A k i h a d e 夜会」については、今年度も特にやり方を変えるわけではなく、昨年出てくれた10人の企画委員と一緒に事業を企画していく予定です。人が集まらなかった点について参加者の中から出てきた意見としては、例えば居酒屋のトイレなどに小さいポスターが貼ってあったり、喫茶店のテーブルに小さな広告が置いてあったりするるので、自分たちも、今度はそういったところをお願いしてみたらどうかなどというアイデアが昨年の企画会議では出ていました。

(相馬委員)

ありがとうございます。

(渡辺議長)

特にならなければ、今、ご説明いただいた平成28年度の事業を、すでにやっている事業もありますが、意義ある事業になるよう、よろしくお願いいたします。

それでは、平成28年度の事業については、以上で終了したいと思います。

(3) その他

事務局のほうで、その他何か連絡等がありますでしょうか。

(事務局)

特にございません。

(渡辺議長)

それでは、以上で今年度第1回目の審議会を閉じさせていただきます。

4. 閉会

副議長あいさつ